

2学年だよ ひこぼえ



渋谷区立広尾中学校
第2学年通信第18号
令和6年9月14日(土)
担当：山本義和

Do の意味を考える

先生は「Do you have the book?」の文章に悩んだことがあります。中学生の時、先生は英語が苦手でした。毎時間新しい英文が出てきて、それに伴い英単語も1日で5、10と増えていく状況に唖然とする日々でした。なんとなく雰囲気や穴埋め問題や並べ替えの問題を解き、会話テストでは、必死にカタカナで書いた原稿を暗記する状況でした。何とか高校に進学しましたが、高校ではその場しのぎなどできませんでした。

高校1年生の時から、その先の進路として大学進学を考えていましたが、どの学部(学ぶ教科)に進もうとしても英語の試験が必須でした。そこから英語と向き合う決心をしたのですが、中学3年間の積み残しと中学よりも1時間に習う英文や単語量も多い高校の授業にめまいがしましたが、中1のワークからやり直すことにしました。そこで当時感じなかった疑問が出てきました。

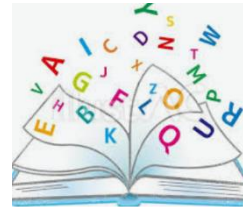
「Do you have the book?」英語の語順は主語・動詞・目的語(補語)だが疑問文の時にはDoを先頭に置く。英語のルールとして動詞は2つ使えないはずなのにどうしてDoを書くのか。そのことを調べていくとcanやmust、mayなどの単語にたどりつきました。同じようにWhat do you like?という疑問文も本来の文はYou Like □の文章の□をWhatという疑問詞に置き換え、疑問文にする際は疑問詞を先頭において後の文章は疑問文の形にすることがわかったのです。そう考えると、単語は変わりますが語句の並べ方には決まりがあり、その決まりもそう多くないことに気が付き安心しました。

そこから英語との格闘の日々でした。決まりを意識しながら学習するのですが、単語量が学年が上がるたびに増えます。そして、人はよく忘れるのです。1週間英語の学習をやらないでいると、英語の問題1問解くたびに辞書を引くこととなり、思うように学習がはかどらなく勉強するのが嫌になりました。そうなるのが嫌なので毎日学習しました。数学の問題を解くことや化学の入試問題に挑戦することのほうが楽しく充実した気持ちになる中で、英語の学習をしていました。克服とまではいきませんが、大学に進学できるくらいの英語力を

身に付けることができましたが、今振り返ると中学生の時に、それも早い時期に覚悟を決めて学習しておけばよかったと後悔しました。先生になった今でも苦手意識と後悔でいっぱいです。

皆さんの中にも苦手と感じる教科があると思いますが、先生の経験から苦手だからこそ時間をかけて取り組むことが大切だと思っています。苦手な教科だからこそ、一つ一つのことをなんとなくではなく確信をもつまで学習することが攻略の近道だと感じています。

定期考査の返却もおおかた終わりました。結果を見直して、「学習に取り組み、実力を高める。」という覚悟をしてほしいです。昼休みや放課後の時間を利用して先生も皆さんの学習のお手伝いをしたいと考えています。もちろんまなびーやhiroo after schoolなども積極的に活用して、後期中間考査では良い結果を出せるようにみんなで頑張りましょう。



新校舎建設に向けて第一歩

9月17日より、校舎建て替えに伴う遺跡発掘調査の関係で広尾中テニスコートが閉鎖されます。今まで沢山の先輩たちが白球を追いかけてきたコートがなくなります。なんだかさみしい気持ちになりますが、今後新校舎として生まれ変わるための一歩なのだと思います。10月に入ると校庭の発掘調査準備が始まります。不便になることもありますが、この建物で過ごす最後の生徒として1日1日を大切に生活していきましょう。



ビブリオバトル特集

今年の夏も国語の宿題に本を紹介するPOP作りや読書感想文が出ていました。夏休み中皆さんも沢山の本と親しむことができたのではないのでしょうか。さて9月に入ってから2週間ほどが過ぎ、日に日に秋が深まってきました。秋と言えば読書ですね。今回は3冊の本をご紹介します。

成瀬は信じた道をいく

今年の夏も成瀬が熱かったですね。滋賀県を走る近江鉄道にラッピング電車が走り、琵琶湖の遊覧船ミシガンには成瀬がパネルとなって乗船していました。西武ドームでは「この夏西武にささげようと思う。」のフレーズがオーロラビジョンに映されたのち、作者である宮島未奈さんが始球式に登場するなど成瀬の話題があちらこちらで聞こえてきました。

今回は「成瀬は天下をとりに行く」の続編を紹介します。

2作目のタイトルは「成瀬は信じた道を行く」です。大学生になった成瀬あかりが、大津観光大使に任命されて、琵琶湖をはじめとして大津の魅力を全国の人たちに伝えるために、またまた幼なじみの友達や、一緒に大津観光大使を務める友達や、近所のスーパーのお客さんなど巻き込んで思う存分行動する姿を楽しんで下さい。



著者 宮島未奈 新潮社

こちら空港警察

物語の舞台は成田国際空港。空港警察署の新署長として着任した仁志村賢作が主人公です。彼は、空港で起こる様々な事件を解決していきます。航空会社の窓口業務を務める女性社員、税関職員、管制官などに関わりながら事件を解決していきます。空港という特殊な環境での警察活動を描いており、緊迫感あふれる展開が魅力です。興味があれば、ぜひ読んでみてください！

著者 中山七里 KADOKAWA



静かな日々

小学5年生の主人公えだいちが、母親の新しい仕事のために引っ越しを余儀なくされることから始まります。転校を避けるため、彼はおじいさんの家に住むことになります。おじいさんの家で過ごす夏休みは、えだいちにとって特別な時間となります。新しい友達の押野と出会い、草野球をしたり、縁側でスイカを食べたりと、日常の中で少しずつ成長していく姿が描かれています。この作品は、静かでありながらも心に響く日々を丁寧に描いており、読者にとっても懐かしい気持ちにさせてくれる一冊です。



著者 榎月 美智子 講談社

来週の予定

日	曜	予定	1	2	3	4	給食	5	6
16	月	敬老の日							
17	火	平常授業 まなびー 区陸練習 16:00~16:50	美術	体育	英語	国語	○	マイプロ	
18	水	3時間授業	社会	国語	数学	/	○	/	/
19	木	専門委員会 ※清掃なし 区陸練習 16:00~16:50	英語	美術	音楽	理科	○	数学	総合
20	金	中央委員会 ⑥区陸練習	理科	技術	家庭	体育	○	社会	区陸練習

※予定が変更になることがあります。詳細は前日の終学活で連絡します。

☆☆☆ ひとこと返信欄 ☆☆☆ 2年1組 生徒名

保護者より